よなばるちょう

与

あなたと～町政を～結ぶ

議会だより

（９月定例会）

町民大会後、普天間基地ゲート前での座り込み活動

■定例会の概要……2P
■一般質問…… 3P～15P
■平成23年度工事箇所現場視察…… 16P

12月定例会
12月10日開会

第96号
平成24年12月15日

- あなたも議会を傍聴しませんか。（議会日程は議会事務局へ 945-5775）
- 会議録を各区公民館・図書館に配布しています。

平成二四年 第三回(九月)定例会

平成二四年九月一二日～二八日までの一七日間の日程で第三回定例会が行われ、左記議決一覧表のとおり決定されました。

主な議案として、平成二二年度決算の認定を行い、総務財政・建設文教の両常任委員会で審査され、各会計とも全会一致で認定しました。

また、一般会計補正予算では、主に沖縄振興特別推進交付金（一括交付金）に関して、次のような質疑が行われました。

問 与那原町三叉路情報発信大型ビジョン活用事業とは。また、設置場所とその管理方法は。

答 横約六メートル弱、縦約一メートルのＬＥＤを使用した電光掲示板を設置し、情報発信します。交通量を考慮し、琉球銀行の建物が最も目に留まるとのことでそちらに設置予定です。管理方法はコスト面や使いやすさを踏まえ、委託するのではなく、職員で管理すべきだと考えております。

問 与那原町観光交流施設整備事業で一億円余りが計上されているが。

答 こちらは観光交流、緊急時の避難場所、健康管理のためのトレーニング施設、また、町民体育館的な要素を兼ねた複合施設を建設予定です。場所といたしましては、上の森公園を予定してます。

問 児童館建設事業の工事請負費の減の理由と今後の経緯は。

答 当初は単年度事業として予算を計上していたが、工事の完成予定が来年度になる。そのため、二ヶ年にまたがるということで、国から二年事業にするよう指摘があった。ですので、九割を今年度、一割を次年度という形にし、その一割分を債務負担行為として計上しました。今後の流れといたしましては、十一月に入札、それから約十カ月の工事期間を経て、来年八月に完成予定です。

付託された委員会からは①沖縄振興特別推進事業については、責任ある窓口を設置し、議会に対して予算提案前の資料提供、情報開示及び説明を求める②与那原町観光交流施設整備事業マスタープラン検討に関する委員会については、各方面に広く意見を求められるような委員の人選を行うとともに随時、情報の開示を求める。といった内容の附帯決議が付された。

平成２４年与那原町議会　第３回定例会議決一覧表

事件番号	件名	議決の結果
報告第４号	平成23年度沖縄県町村土地開発公社事業報告及び決算報告について	報告
報告第５号	平成23年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	報告
議案第32号	平成23年度与那原町水道事業会計の決算に伴う決算剰余金の処分について	原案可決 賛成多数
議案第33号	平成24年度与那原町一般会計補正予算（第３号）	原案可決 全会一致
議案第34号	平成24年度与那原町国民健康保険特別会計補正予算（第１号）	原案可決 全会一致
議案第35号	平成24年度与那原町後期高齢者医療特別会計補正予算（第１号）	原案可決 全会一致
議案第36号	平成24年度与那原町公共下水道事業特別会計補正予算（第１号）	原案可決 全会一致
議案第37号	平成24年度与那原町水道事業会計補正予算（第１号）	原案可決 賛成多数
議案第38号	与那原東小学校屋内運動場改築工事（建築３工区）請負変更契約について	原案可決 全会一致
議案第39号	与那原東小学校校舎改築工事（機械設備２工区）請負変更契約について	原案可決 全会一致
認定第１号	平成23年度与那原町一般会計歳入歳出決算の認定について	認定 全会一致
認定第２号	平成23年度与那原町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定 全会一致
認定第３号	平成23年度与那原町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定 全会一致
認定第４号	平成２３年度与那原町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定 全会一致
認定第５号	平成２３年度与那原町水道事業会計決算の認定について	認定 全会一致
陳情第14号	「しまくとぅば」の普及促進に関する宣言決議要請について	採択 全会一致
陳情第15号	駐留軍関係離職者等臨時措置法の有効期限延長に関する陳情	採択 賛成多数
陳情第16号	与那原町発注の公共工事に係る受注（元請）業者に対する町内建設業者及び建設関連業者の優先活用奨励方について（要請）	採択 全会一致
陳情第17号	町内建設業者の優先活用方について（陳情）	採択 全会一致
陳情第18号	地元産品奨励及び地元企業優先使用について（要請）	採択 全会一致
陳情第19号	県産品の優先使用について（要請）	採択 全会一致
陳情第21号	公共工事発注に際しての事業用自動車（緑ナンバー）使用に関する陳情	採択 全会一致
陳情第23号	陳情書（「沖縄戦」における民間戦争被害者を救済する「新たな援護法」の制定に関する陳情）	採択 全会一致
委員会提出議案第８号	「しまくとぅば」の普及促進に関する宣言決議	原案可決 全会一致
委員会提出議案第９号	駐留軍関係離職者等臨時措置法の有効期限延長に関する意見書	原案可決 賛成多数
委員会提出議案第10号	民間戦争被害者を救済する「新たな援護法」の制定を求める意見書	原案可決 全会一致

沖縄振興特別推進交付金（一括交付金）のその他の主な内容

事業名	事業内容
与那原町内海抜表示整備事業	町民及び観光客等への避難誘導として、電柱、電力柱、ＮＴＴ柱を含め、１００ヶ所に海抜表示をする。
軽便鉄道与那原駅跡公園整備事業	太平洋戦争で破壊された軽便鉄道の与那原駅跡の用地を購入し、軽便鉄道の説明板やモニュメントを設置。
与那原町景観形成強化事業	県内唯一の赤瓦の産地であり、その赤瓦を利用した与那原町らしいまちづくりを形成する。

比嘉 徳雄 議員

国道より東部清掃組合迄の道路について

比嘉議員　国道より東部清掃組合迄に三ヶ所道幅が狭くなっている状態です。そこは十六年来同じ状態です。平成十八年に一般質問致したところ、答弁として、板良敷大里線道路改良工事を行った時点で、三ヶ所の地権者と協議を重ねたが、用地単価が合わない件と、代替地を求められたが代替地が周辺になく合意に至らず事業が平成八年度に終了し、現在に至った。今後未買収箇所につきましては地権者と用地交渉を再開し協力が得られるのであれば、財政当局とも協議し予算の目途がつき次第、用地買収並びに道路工事を行っていきたいとの答弁でした。あれから六年進展なし、質問と致しまして、①三ヶ所の未買収部分の経緯について、②今後の対策はどう講じていく考えか。

東部清掃近くの道路

城間まちづくり課長　最近地権者のもとへ行きました。いろいろ話を伺いました。内容として、前回通り代替地は求めるが、交渉には応ずる。また家族と相談の上、できるだけ協力はしたい。もう一方にはお会いできておりませんが早期にお会いし、お話を伺いたいと考えております。今後、地権者と粘り強く課題の解決策を考え、条件整備を行っていきたいと考えております。

水道事業について

比嘉議員　水道課長より四三〇〇万円の剰余金について積立金処理理由を聞かせてもらいました。①水利用の減少、②ポンプ場の耐用年数、③配水管の老朽化等がありましたが、①は納得しませんが、②③については理解するところがあります。質問と致しまして、①二十三年度の有収率は何%ですか。有収率一%アップで料金収入はどれほどの金額か。②他市町村並みの料金体系にするためには有収率は何%が必要と思われますか。③有収率アップを図るためにはどう対策を取ればよいか。

石川上下水道課長　平成二十三年度の有収率は九四・三七%で一%アップで約四〇〇万円の増収益となります。現在、有収率の目標設定値をもって料金設定は行っておりませんが、今後の水道収益の推移や水道施設などの更新計画を含め、包括的な検証、算定を行い、適正な水道料金を決定していきたい。配水管、配水管の漏水調査で発見された早期修繕復旧や経年劣化による老朽管や耐震管の計画的な方針作業を行っていきます。

監視カメラ設置について

比嘉議員　子供達や町民の安全・安心を確保するため、一括交付金を利用し、監視カメラ設置できないか。

照屋総務課長　与那原区安全なまちづくり推進協議会が安全なまちづくり防犯カメラ拡充事業を平成二十四年度の新規事業として計画をしております。また防犯カメラの設置希望場所といたしましては、「公園」が五件、「通学路」三件、「その他」四件となっています。

エイサーに補助金を

比嘉議員　エイサー活動をしているのは、当添区、板良敷区の青年エイサーです。最近与原区がエイサーを始めたと聞いています。エイサーは与那原祭りを始め、本町の行事にとってなくてはならない存在です。エイサーは沖縄の文化でもあり、世界エイサー大会も行っています。現在運営費を青年会が寄附集めで賄っている現状です。青年会がスムーズにエイサー運営ができる為にもエイサーを実施している区に補助金を出すことができないか。

照屋総務課長　補助金交付要綱の補助対象の規定につきましては、エイサーや獅子舞などを想定し、弾力性のあるものとなっていますので、各区のエイサー活動の実績や経費を確認して、平成二十五年度予算で町補助金等審査委員会にかけられるように準備を進めてまいりたいと思っています。

本町と韓国との交流
大阪大正区との交流、今後の考えは！

上原 晃 議員

上原議員　大綱曳まつりの日韓親善交換競技大会はどの様な考えで取り組み、予算はどのように配分されたのか。そして大正区への各担当の派遣はどのように決められたのか、その予算の内訳はどうなっているのか。

屋比久産業振興課長　第三〇回の与那原大綱曳まつりということもありまして運営委員会の中の角力実行委員会からも韓国の相撲との交流をしたいという提案をいただいております。今まで行ってきました相撲大会は予算配分額は二〇万円で、韓国との交流相撲その分の経費負担が総額で約一六二万円、うち七〇万円を運営委員会の負担として、残り九二万円を沖縄角力協会が負担をしております。

大正区派遣については、大綱曳実行委員会の三役を初め、直接綱に関わる大綱曳実行委員会の役員、各係長を集め、責任者会議を開いております。各係長から推薦した直接綱に関わる綱係のメンバー、運営委員会の役員、事務局等を含め、総勢一一二名の派遣を決定しています。予算は約七三〇万四千円。内訳は旅費で六九〇万七千円、郵送料・備品購入・雑費等で三九万七千円となります。

古堅町長　韓国のシルム、沖縄角力の交流は長年続けてきている角力協会からの要請もあって、会長を初め理事長、関係者が要請に来られたんです。歴史を積み重ねてきた大事な交流でありますから、そういう基本理念のもとでやっています。大阪大正区、今回の与那原大綱曳が現地で曳かれたことについて、県人会の会長から御礼の手紙が届いておりまして、ある意味では沖縄県人会に対して勇気を与えた。私は今度の大阪大正区での与那原大綱曳はやって良かったと思っております。

最終処分場建設用地選定の進展状況は！

上原議員　サザン協の進捗状況を伺います。最終処分場建設事業につきましては二〇〇〇年の南廃協設立から始まり、二〇〇七年のサザン協設立も含めまして、既に約十二年が経過しておりますが、なぜ長期に進展がないのかお聞きします。

青田住民課長　現在、南城市の候補地の確定に向けて地域の合意形成に誠意取り組んでいる所であります。堀川区への説明等、南城市の島尻消防清掃施設組合の方でやられている状況です。

古堅町長　長年に渡りまして総論賛成、各論反対を繰り返し、紆余曲折がございました。現在、会長が島尻施設周辺の行政区、三地域との説明会を鋭意、会長を中心として行うべく努力をしてきておられるようです。十五年後の輪番制の件についても議論した結果、スムーズに行くのではと考えております。今年度、次年度である程度の最終処分場施設の建設の方針と規模等の公表ができるような形まで持っていけると期待をしているところであります。

役場窓口の対応 住民サービスをどう考える！

上原議員　うるま市役所の窓口対応、窓口業務の民間委託についてどのようなお考えなのか。本町も人口増加に伴い、将来取り入れる時期も来るかと思いますが、どのようなお考えですか。

照屋総務課長　うるま市は平成二十一年度より市民課の窓口業務の一部を委託して、職員を五名減らし、委託職員八名を配置し、その委託職員の対応が非常に市民に好評であると伺っております。人口の増加、新しい制度や先進地の事例等も常に最新の情報を収集しながら本町にあった取り組みをして参りたいと思います。

古堅町長　与那原町に全く同じ形がいいのか、お互い学習をして、選択していくべきだろう。しっかり目標を定めて進むべきであろうと理解しております。議会の皆さんの感じたところ、また御指摘も真摯に受け止めて取り組んでいきたいと思っております。

上原議員　皆さんもおもいやり算というのを御存知だと思うんですけれども、私は、役場職員一人一人がこのおもいやり算を心がけて毎日の業務に全力を尽くし、住民サービスに努め頑張っていただきたい。

複合施設の最大の目的・スケジュール・規模・事業費はどうなっているか

津波弘 議員

新垣企画財政課長　複合施設の最大の目的は、本庁を訪れる観光客と町民が交流できるイベントを企画し、新たな観光メニューの創設を図ること。また災害時には避難施設として活用を図ることを目的としています。さらに体育施設として活用することで、町民の健康増進にもつながり、観光関連収入の増、医療費の抑制などにも効果が期待できる。最終的には町民福祉の向上が図られ、町民が元気になり、まちの活性化にもつながっていくものと考えております。一括交付金に係わる事業としては、土地造成及び本体工事、備品整備など、総事業費で十一億五〇〇〇万円を想定して、沖縄県へは事業を要望し、既に内閣府の内諾を得ております。

古堅町長　上の森公園の複合施設につきましては、一括交付金の性格上、どうしてもしっかり練り込んでという形が時間的にどうしても無理があったものですから、これからマスタープランがしっかり、いろんな町民の御意見、あるいは議会の皆さんの御意見も検討委員会の中でしっかり議論をされて、後々悔いの無いように、いいものができるように、これは大きな施設ですので、ぜひ議会の皆さんの御協力をお願い申し上げたいと思います。

マリンタウン水路周辺の水質はどうなっているか

石川上下水道課長　平成十四年度から毎年水路における河川部分での二ヶ所、排水溝の入口で三ヶ所、計五ヶ所の水質分析調査を実施しております。平成二十三年度の調査項目につきましては、水素イオン濃度、生物化学的酸素、浮遊物質量、ノルマルヘキサン抽出物質含有量、ヨウ素消費量、陰イオン界面活性剤、大腸菌群数、臭気強度を実施しております。このうち水素イオン濃度と浮遊物質量につきましては、環境基準値以内でありますが、生物化学的酸素要求量や大腸菌群数などは環境基準を大きく上回っております。

与原側の海洋護岸の整備と遊歩道の整備はどうなっているか

城間まちづくり課長　与原側の遊歩道整備ですが、とりあえず今年度概略設計を出して、大まかな概算事業費を出し、それで平成二十六年度要望に向けて来年、要望書を提出するということを考えております。青少年広場の前に以前からの懸案事項であります海没地の問題もあります。今回、この遊歩道整備の時にどうにかその海没地の問題もクリアしないことには、この事業も前に進みそうもありませんので、そこら辺の状況を踏まえながら、実際のスケジュール等は今後お示しできると考えております。

古堅町長　与原地域の遊歩道の件ですが、県の護岸整備、県の管理下でありますので、平成二十二年度から強く要請をしてきたところであります。護岸整備事業では琉球政府時分の護岸ではあるんですが、頑丈でどうしてもつくりかえるということには該当しないということで、もうこれで整備は無理かなと思っていました。ですが、いろいろ国の識者の町出身の方々のお知恵もお借りしながら、関係部署にいる方々の御協力を得て絞り出してきた案が現在の遊歩道構想に結びついて、国と県と協力し合って、この事業だったら、あの人道橋との絡みで西原境まで整備できるというような、可能だという線が見えてきました。二十五年度で調査を入れて、平成二十六年度にはこれが認められれば整備されるということになりますので、これも大きな前進になるだろうと思います。

行政区の統廃合どうする

古堅町長　行政区の統廃合ですが、これは大きな問題ですので、地域の区長も初め、議員の皆さんの御協力も仰ぎながら、何とか町民の理解のもとで統廃合になるのか、あるいは全面的に行政区を考えるとか、何か良い方法があればと常々思っているわけですが、一筋縄ではいかない。なかなか合意が得られないという難しい課題を今抱えているところでありますので、これも均衡ある行政区のあり方について進めなければいけないと思っています。

喜屋武 一彦 議員

財産管理について

喜屋武議員　町所有の土地不動産は里道・庁舎・公舎・学校敷地等は含めず更地の状態で使える土地はどれぐらいあるのか。

新垣企画財政課長　町が所有、管理する土地については、道路や公園、庁舎などの公共施設に付随した利用目的の決まった土地としての行政財産、またそれらに属さない特定の利用目的を持たない土地としての普通財産とがあります。行政財産としましては、一八二筆一九万五一二九・四五平方メートルでございます。普通財産としましては二四五筆、四万四九九九・三二平方メートルとなっております。

公共事業の土地取得、等価交換の活用もやるべきだと思うが

新垣企画財政課長　公共事業に伴う土地取得の際の町有地の等価交換につきましては、町有地の位置、場所等も含めて現況を検討した上で、等価交換可能な土地がございましたら、その都度検討してまいりたいと考えております。

道路拡張について

喜屋武議員　避難施設を含めた複合施設の予定があり、複合施設を生かすためにも商工会下方からの道路整備はセットでやるべきだと思うが。

城間まちづくり課長　商工会館前から下へ降りる道路は町道森下一号線と呼んでおりますが、この現道の拡幅の検討は今のところ行っておりません。それとは別に商工会館前の交差点から与那原六号線、えびす通り、これを結ぶ道路は第四次与那原町総合計画にも位置づけられており、役場、社会福祉センター、与那原町交流センター、商工会館等の公共公益施設利用者の利便性の向上、今後整備される複合施設への避難、誘導できる緊急避難道路としての役割を担うことから必要な道路であると考えております。この道路は仮称森下五号線の道路名称で平成二十三年度に概略設計を行っております路線沿いに共同住宅が建築済み、一棟が建築中となっており、農協跡地利用の計画もあることから放線の見直しを行い、事業費を算出し整備スケジュールも含めて沖縄県や企画財政課と協議し、推進をしていきたいと考えております。

浜田区から愛隣園方面に上がる道路の幅員整備は

城間まちづくり課長　浜田公園付近からは両側歩道ではありますが、道路線計がきつく、見通しの悪い道路となっております。また浜田大見武線は小学校の通学路に指定されておりますが、交通量が多く児童生徒の安全確保が危惧されます。また平成二十八年度以降国道三二九号与那原バイパスが供用されると、大見武付近のインターチェンジで降りた車輌が浜田大見武線に流入してくることも考えられることから、道路拡幅の必要はあると考えておりますが、現在のところ事業化の目途は立っておりません。

危機管理体制・災害等が発生した時の町マニュアルは

照屋総務課長　与那原町災害、台風時における緊急初動体制に関する規程を整備いたしております。この規程は主に初動の職員招集について定めたものでございます。東日本大震災のような大規模な災害には即適用できる内容とは言い難いところもありますので、その規程を補完するような行動マニュアルを今後策定していきたいと考えております。

インフルエンザで出勤できない場合の人員体制は

上原学校教育課長　給食センターは現在正職員三名、嘱託二名、臨時一名にパート女性賃金職員が五名、計十一名で運営をしております。その中で調理をする担当として毎日九名が出勤し、調理をしております。その中で調理中止を行う場合としまして、栄養士及び調理員四名以上が出勤停止になった場合は調理中止、調理員四名以上が出勤停止になった場合、献立を変更する基本方針を持っております。六月二十八日インフルエンザにより四名以上が休んだため、献立変更を行っております。今回、児童生徒、保護者の皆様に大変御迷惑をかけましたので、インフルエンザの予防接種につきましては、内部の方で検討して前向きに進めていきたいと考えます。

町はシンボル緑地内パークゴルフ場をどう位置づけるのか

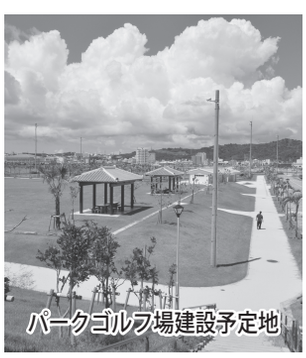
当真聡議員

城間まちづくり課長　現在県の港湾課は平成二十五年四月の供用開始に向け西原与那原マリンパークの指定管理の募集を行っています。町が指定管理を受けない理由といたしまして、今回の指定管理がありティーダ公園、西原マリンパーク、与那原船だまり、それとシンボル緑地（パークゴルフ場）の一括管理であり、パークゴルフ場のみの管理ができなかったためと歳入歳出見込み書を精査した結果七千五百万円の赤字になるという想定のもと今回の指定管理の応募には手を挙げないという結論に達しております。

当真議員　一括指定管理に対しＪＶを組んでの指定管理の申請でも構わないという県の見解がありますが、そこまでの考えはなかったのか。

城間まちづくり課長　検討している中で当然共同企業体、ＪＶの話もありました。しかしシンボル緑地パークゴルフ場これも収益施設であり、当面赤字が考えられる船だまり、それからありティーダ公園の維持管理に経費が回るということがあり、町がどのように頑張っても収益は他の施設の維持管理に回るであろうとの議論があり、今回はそこまで踏み込んで検討しないということで、ＪＶの話は立ち消えました。

当真議員　与那原町内にできるパークゴルフ場であり、町民からしても優先的に利用ができ、町民の健康づくりにも利用されるだろうと考えている町民も多くいらっしゃると思います。町がかかわらない場合は、町民の利益として相当失われる部分が大きいと思うんです。そこを含めてどう考えるのか答弁をお願いします。


パークゴルフ場建設予定地

古堅町長　町民もぜひパークゴルフ場は自分達が使いやすい、あるいは使い勝手のあるという方向、また雇用の面でも団塊世代の皆さんからも私のほうに要請があります。ですからおっしゃる通り町民もパークゴルフ場の活用については大きな期待が寄せられているということは十分承知しています。当真議員から御指摘があったように総合的なＪＶ方式、このようなアイディアが県のほうと話し合いをして可能性があれば、非常に良いアイディアなので、県の公募に間に合うかどうかも含め早速議会が終わり次第港湾課のほうにそのような考えが成り立つかどうか、私も出向いていってその話を進めていける可能性があれば進めていきたいと思います。

当真議員　町長の答弁の中でも最終的に決まったと言われたので、終わりかなと思いましたが、まだチャンスはあるんだという気持ちで頑張りましょう。

教育委員会の不祥事管理職の責任は

諸見里教育長　給食センターにおきまして、所長・学校教育課長、そして教育長、今回の職員の処分に係わる責任につきましては、昨年からおける子供の事故、あるいは教師による不祥事、公用車の無断使用、そして今回の給食センター職員による規律違反に対しまして、道義的な責任を感じております。今回の処分については町の分限審査会の中において職員は減給、所長及び学校教育課長については厳重注意と文書訓告、私も自らの処分を考えた訳ですが、上級機関等にも意見をお聞きした結果、それには該当しないだろうという意見をいただきました。今後において大きな信用の失墜、予算執行における損害等があれば、私も自ら処分を科すと決めております。今回はあくまで服務規律の違反ということで道義的な責任で終わらせていただきたい。

当真議員　一企業から見ても甘い処分だと思う。職員を守ることもいいことだと思いますが、守り過ぎるとその人のために町民は不利益を受けます。管理職としての指導が不行き届きな部分も十分考えられるので、もう一度その辺も含め精査してどうあるべきか練っていただきたい。

町職員スキルアップについて、その後どのような形で検討されたか

仲里　司 議員

仲里議員　研修も大いに頑張っていきたいと思います。ただ本当に職員のスキルアップ、特に接客の部分を含め、また町の事業に対しての提案型の部分、その他の事業の業務的な効率化等を含め、これを給与に反映させるべきじゃないかと思うんです。

古堅町長　民間では非常にたやすいことかも知れませんけれども、地方自治の行政の立場では、なかなか難しい。これからも厳しさは持ちながら育てていくという基本理念のもとでやっていきたいと思っています。

町総合計画について

仲里議員　昨年策定されました第四次総合計画、その後どのような形で総合計画が進行しているのか。

　一括交付金事業との関連の部分、総合計画、基本計画、実施計画ができ、一括交付金の活用もされていくものだと認識しています。その総合計画がどうなっているのか。

新垣企画財政課長　平成二十五年度までの実施計画を作成し、現在、各事業を執行しております。次に一括交付金事業との関連について、住民会議を経て、最終的には議会の議決を経る計画となっております。本計画は、本町のまちづくりの指針となるもので、本町の実施するさまざまな事業については、総合計画に即したものとなっております。当然、一括交付金を活用した事業についても同様と考えており、今後の本町のまちづくりを見据え、総合計画の基本構想並びに基本計画に即した事業に活用してまいりたいと考えております。

一括交付金について事業と予算は

仲里議員　あとどのようにして事業メニューを募集し選択したのか。一括交付金を活用した後の維持管理費にはどれくらいかかっていくのか、どのようにこの費用を検討されているのか。

新垣企画財政課長　全体で二十五事業、五億一五一五万九〇〇〇円となっております。どのようにして事業メニューを募集し、選択したかにつきましては、各課長を中心に全職員から事業募集を行いながら、また各種団体の代表者との意見交換や事業提案依頼を行いその事業が一括交付金の制度に適用するのか、その検討した結果、三役、全管理職で構成する本町の庁議で事業を決定しております。

維持管理費について

仲里議員　次世代の皆さんに負の遺産を残さないということを一番に考えなければいけない。これまでやってきた箱物事業の本当に最たるものですから、その部分は検討していかなければならないと思う。

　少し提言をしますが、ネーミングライツを含めて、コインパーキングなり、駐車場の料金、つくる予算はそれなりにかかっても、維持管理費のかからない部分をやるとか、スポーツ、リハビリ等々の資格を持った人が指導員で入るとか、町民に利益になるようなことを御検討いただきたいと思います。もう一つ、他の議員からも出ていますが、一括交付金を一括して、一つの課か局で専門的にさせた方がいいのでは。今のままでは職員もいっぱいいっぱいなのでは。

福地副町長　一人職員を昇任させ、一人職員を採用して三名で班を作っております。

役場前

上の森公園

国道与那原バイパス工事に係わる大見武区からの要望を早急に実現せよ！

識名 盛紀 議員

識名議員　バイパス通過により、切断される農業道路拝所ヤマグヮー、御門口（ウジョウーグチ）、大石（ウフイシ）の進捗状況はどうなっているか。

城間まちづくり課長　農道については浜田大見武線沿いの集落センターから南側へ切り回し接道する計画で、現在事務所より用地交渉を行っているとの事。拝所、御門口については、移設となり、年度内には補償契約まで持っていきたい。拝所ヤマグヮー及び大石については、移設はないが、拝所までの通路、安全対策として本線工事終了後に附帯工事を行うとの説明を受けています。

識名議員　皆さんは、地元と話し合いをし、了解をもらって進めているのか。

城間まちづくり課長　担当職員が大見武区に行き、区長と状況を話しております。又、国道事務所から伺った内容を区長に説明をしており、当然、区と同じ認識であると考えております。

大見武集落センターを広域避難場所として整備を急げ

識名議員　防火用水、生活用水は不可欠であり、水資源を確保するために、施設整備が必要と考えるが。

照屋総務課長　与那原小学校児童の一時避難場所でもあり、食料や飲料水の備蓄も今後、大見武集落センターへも確保したいと考えており、検討して参りたい。

識名議員　農業振興を図るために灌漑用水の確保、遊休地の再生、後継者の育成が重要で、貯水施設の整備を、国に要請すべきでは。

屋比久産業振興課長　この国道三二九号バイパス事業に関し、雨水貯留槽施設整備を総合事務局も予定していると聞いており、その活用についてこれから協議を進めていきたい。

LRT導入によるまちづくりを、「沖縄21世紀ビジョン」に組み入れ、県と調整を

識名議員　本気度を示すための調査費、採算を含めて可能性調査をやるべきじゃないかと思いますがどうか。

新垣企画財政課長　県や国の調査の結果等、進行状況、結果等を踏まえながら、本町のみでの事業実施ということではなくて、関係各方面との調整を図りながら、検討していきたい。

識名議員　与那原が軽便の発祥地という優位性があり、県を待つ必要はない。那覇与那原が一番採算が取れるという民間調査も出ており、地元から手を挙げて積極的にやるべきと思いますが。

古堅町長　具体的な面で、事業主体の問題、あるいは採算性をどういう形で考えているか、活発に意見交換をさせてもらっています。もう少し練って、どの程度の調査費になるか、一歩でも二歩でも進めるように頑張っていきたい。

国・県にやる気を見せよ！

識名議員　沖縄県総合交通体系基本計画、昨年十二月に公表されているが、与那原の位置付けはどのようなものになっているか。

新垣企画財政課長　本町は観光交通情報拠点として、また情報・交流・レンタカー拠点としての公共交通との結節点、本町と那覇市を結ぶLRTも含めた新たな公共交通について検討する事となっております。

給食センターの危機管理に徹底して取り組め

識名議員　職員が新型インフルエンザの疑いで出勤停止となり、給食に支障を来したとの事ですが、どのように対応したのか。

上原学校教育課長　メニュー変更をしたことは、保護者の皆様、児童生徒に迷惑をかけ、深く反省しています。

諸見里教育長　学校給食調理場の設置以来、恐らく初めての事案ではないかと思います。二度とこういう事が起こらないよう、危機対応の管理マニュアルを作成して、厳重に指導を行っていきたい。

バイパス工事

電子黒板、マルチメディアデイジー導入への整備を

田中 直子 議員

田中議員　さまざまな機能の活用で児童の集中が増し、授業内容が理解しやすく、実際に電子黒板を活用している学校から教育的効果が大きいと聞いております。生徒の学習支援に電子黒板導入について見解を伺う。

　マルチメディアデイジー図書導入について、読むのが困難な発達障害児童生徒の学習支援にデジタル教科書、デイジー教科書を導入できないか伺います。

上原学校教育課長　現在本町の小中学校におきまして、電子黒板の保育台数はありません。町の学校現場においてＩＣＴ機器を利用した授業を進めていかなければならないと考えております。

　今回の一括交付金を活用して整備を検討したいと考えております。マルチメディアデイジー導入については、このデイジー教科書自体がまだ本町教育委員会並びに学校現場で認知されていないため、活用方法や効果等について学校に紹介し、デイジー教科書を必要とする児童生徒の数を把握して導入する検討をしたい。

田中議員　学校生活での困難をそれぞれに合った方法で改善、回復するためにも積極的なデイジー教科書活用の導入をして頂きたい。

オストメイトトイレの設置は万全か

田中議員　利用者にとって問題はないのか。町内何カ所に設置されているのか。

伊集福祉課長　がんや事故などで消化器官や尿管を損なわれたため、人工肛門や人工膀胱を設置した方をオストメイトと言います。その方たちが外出先で安心して使えるトイレ、本町には庁舎内福祉センター、コミュニティーセンター交流センターひざし、かねひで東浜店を含め五ヵ所となっており、利用者にとっての問題は全くお湯が出ていないということで御指摘を受けました。

田中議員　お湯・水が出ないで非常に困ったと、今後しっかり点検をやって頂き看板・表示が目につくように配慮して頂きたい。

町内雇用支援・雇用創出事業は考えているのか！

田中議員　働く意欲があるのに職がない。雇用と失業対策は喫緊の最重要課題と考えます。その取り組みは。

屋比久産業振興課長　町では平成二十二年度から二十三年度にかけまして、実人数一〇一名の雇用を生み出しております。平成二十四年度、二十五年度にかけて震災等緊急雇用事業を一年間実施する事ができ、二十三名の雇用創出事業をこれから実施してまいります。

町役場前にある求職情報への案内設置板

田中議員　雇用の方法、人選のやり方はどのように。町民がわかりやすく相談しやすいように相談窓口も設けていただきたい。

古堅町長　大変雇用が厳しい社会状況一人でも多くの雇用の場が確保できるように、ＢＴＰについては町民優先にあらゆる機会をとらえて積極的にアピールも、御提案・御提言もいただきながら頑張っていきたい。

安全対策早急に
①親川通り仲村菓子店前の十字路に停止線、カーブミラーの設置を
②板良敷沿岸線から国道へ抜ける道路の案内標識を
③東浜ファーマーズ前の十字路に信号機の設置を

照屋総務課長　①新島区の停止線、カーブミラー②の板良敷の路面標示につきましては今年度中に設置を致します。③東浜ファーマーズ前の信号機につきましては九月七日付で与那原警察署あてに信号機設置要望書を提出しているところです。

その他の質問

○行政サービスについて

我謝 孟範 議員

オスプレイ配備について

我謝議員　初めに県民大会を成功させた町の実行委員会、町長はじめ関係各位に敬意を表します。オスプレイは今岩国に置かれ、沖縄配備で慌ただしい動きである。なぜ欠陥機と呼ばれているか、音量等通常のヘリとどう違うか、又、今後の課題と町長の考えは。

照屋総務課長　オスプレイの欠陥は開発元のボーイング社を初め、各方面の証言により指摘されている。オスプレイは、ヘリコプターと飛行機の機能があり、通常のヘリより回転翼が二米ほど小さくヘリモードから飛行機モード時に事故を起こすと言われている。音量としては飛行中は通常ヘリと変わらないが、着陸する時は二倍の騒音になる。配備の際は本町も飛行ルートになることから早めに町民大会を開催したい。

古堅町長　十万人余の県民が意思表示したのに強硬に配備されており、悔しい思いであった。全県それぞれの地域で大会を開くことを申し入れており今後とも頑張りたい。

我謝議員　オスプレイは四〇件も事故があり、日本政府は間違った宣伝をしている。町民、県民にどれだけ危険であるか知らしめる行動が必要であり、ただちに出来る事はないか検討すべきである。

与那原町周辺を飛行するオスプレイ

空屋、空室を県営住宅としての活用を

我謝議員　マリンタウンプロジェクトで県営高層住宅建設はどうなっているか。与那原町内のアパート室数と空き数は。

城間まちづくり議長　沖縄県としては新規の県営団地の計画はなく、既設の団地建替が主であり、埋立地での計画は断念とのことで現在の土地利用計画となっている。二〇一一年度の総務省統計で町内の部屋数が二四八〇、空き数が四二〇となっている。

我謝議員　県と与那原は県営団地を建てる約束がある。空屋、空き室を県営として借り入れ、町民に提供するよう申し入れてはどうか。

城間まちづくり議長　県の二一世紀ビジョンで公営住宅戸数を二〇一一年度で約三万戸、一〇年後にはさらに一六六〇戸増の供給促進がある。可能かどうか県に申し入れたい。

与那原町墓地基本計画について

我謝議員　墓地基本計画では町営墓地の必要性が述べられており、今年度中で条例の作成となっている。人口増や、墓地の散在等があり、急を要する事業であり提起したい。三武嶽方面には墓地が散在しており、その周辺を墓地公園として整備してはどうか。又、三武嶽周辺の友利原、給食センター上の方の通称カーミーモーには町有地があるが、そこも位置付けて活用すべきではないか。

青田住民課長　条例は今年度中で制定に向けて作業を進めている。

　公営墓地の整備については、個人墓が散在しており、集積化、規制誘導等が必要となるので委員会を立ち上げたい。三武嶽方面の公園化も視野に入れたい。町有地が友利原で一四一六平米、平良原は二五九〇平米となっている。活用を含め検討したい。

町のシンボルとして町魚、町鳥の設定を

我謝議員　この件は青森県階上町議会研修員の資料を参考に提案している。町としての見解を。

照屋総務課長　全国の市町村の中には、例えば町の魚をアユ、鳥はキジがある。アユは清流に躍動する、キジは端正な姿で力強い飛躍、それぞれの象徴で制定されている。

　沖縄県はグルクン、ノグチゲラを制定されているが県内市町村はどこにも制定がない。本町は県内でも目に見えて発展しており、町にふさわしいものがないか広く議論し、検討したい。

我謝議員　魚と言えば聞得大君との関係でマジク・タジクの伝説がある。鳥としては、身近にいたクラー小、ひばり、ウグイス等が居なくなっている。それぞれの島を保護していく立場からも制定されたい。

南部広域行政組合のサザン協の最終処分場の役割は

津波古 国明 議員

津波古議員　①サザン協が位置する上で最終処分場の場所等が大詰めを迎えていると思うが、組合に対する負担金、委託料、課題等、基本的な考えをお聞きしたい。②東部清掃施設組合の規約において、管理者、組合議員その他大世帯となっておりますが体制を考えていないのか。

青田住民課長　最終処分場の場所が決まれば、それに合わせて組織統合についてサザン協の四部会で協議をして、将来的には施設の一元化も合わせて行います。その前に、東部清掃組合の一部事務移管に向けた協議を行います。最終処分場の建設を機に運営組織の一元化に向けた現段階として島尻組合及び東部組合が個別に共同処理する事務のあらゆるパターンを想定し、財政的なメリットも考慮しながら最良の方法を検討していきたいと考えております。組合規約において建設までは多くの意見を取り入れ、建設後には管理だけになるということで構成する定数のシミュレーションを全員協議会の方で説明があったと聞いております。し尿処理施設検討委員会でも規約改正について説明があり了承しているところでありますが、最終処分場が決まり、新たな構成になれば最良の方法を検討していきたいと考えております。

古堅町長　南部広域行政組合の会長は私が今就任しておりますが、その南部広域行政組合の委託を受けて、サザン協が最終処理施設に向けての取り組みをしているのでありまして、予算がまだ額的には調整の段階に入るわけですので、これからは候補地が決まれば建設に向けて進んでいかなければいけない。大きな予算が伴って参ります。この組織は今後、組織として決済を経て、そして責任の所在を明らかにする形で議論すべきであるということで私の方でも提案申し上げて、これからの構成自治体間のしっかりした意見交換の中で答えが出てくると思います。

補正予算案一括交付金事業の活用について

津波古議員　複合施設の建設事業、ＪＡ跡地整備事業、このようなハード、ソフト事業が提案された。健康施設、スポーツ施設あるいは防災・観光施設で町民が最も望む複合施設であると思うんですが、活用、対策等の問題はないのか。場所等ほかの選択肢はなかったのか。

新垣企画財政課長　交流会やさまざまな観光イベントを展開していきたいと考え町民体育館としての活用やイベントホールとしその活用することで、町民の福祉の向上、健康増進につながるものと考えております。場所等については現在予定している、上の森公園しかなく、避難施設として考えた場合、現在の予定地が望ましいと考えております。課題として維持管理費の軽減をどう図っていくかにつきましては、マスタープランを作成する中でしっかり議論をしてまいりたい。

町道について

津波古議員　当町との所有権確認訴訟が、昨年、今年と提訴されている。対策をどのように考えているのか。

城間まちづくり課長　町道として使用されている私有地の明け渡し請求についてですが、私有地が町道として使用されている箇所は他にもまだあると思われる。地権者から申し出があった場合には、個別に相談を受け、誠心誠意しっかり向き合って解決を図っていきたいと思います。

与那原、西原漁業組合について

津波古議員　漁民の所得向上に向け検討し、どのような結果、問題等はないのか。

屋比久産業振興課長　特産品の天然ヒジキやソデイカ、マグロ等を生かした加工品の開発支援を行いたいと思います。与那原町、西原町産地協議会を立ち上げる漁協等と事業に取り組みます。一括交付金、その他補助メニューがあれば活用支援していきたい。

城間 盛光 議員

観光交流施設等整備事業について

城間議員　町民体育館、交流施設であれば、東浜が良いと思いますが、可能性調査でも多目的広場に提案されている。すでに場所も決定されているが何故そこなのか。
①事業の必要性
②事業の効果
③運営の見通し

新垣企画財政課長　観光振興のため、施設の整備を図る必要があり、また住民アンケートからも町民体育館の整備も望まれており、それを活用することで、観光イベントや町民の福祉の向上、健康増進を図っていきたい、運営の見通しについては、マスタープランの中で議論をしていきたい。

城間議員　交流施設、町民体育館、避難施設、三つの要素を兼ね備えた複合施設一つでも欠けたら、この事業は出来ないのか。

新垣企画財政課長　一つでも外すと、一括交付金事業の対象にならないと考えております。

南斎場建設計画の進捗状況について

城間議員　土地の購入金額、契約等地主との対応はどうなっているのか。

青田住民課長　地権者から事業同意書、用地買収契約への協力をいただいて交渉を行っており、今月中の契約に向け全力で取り組んでいるとのことです。

城間議員　付加価値を付けた鑑定評価で、交渉しているにもかかわらずまだ応じない理由は何か、また本来は契約の目途がついてから事業実施すべきであってこの状況で万が一契約できなかった場合どう対応されるのか。

福地副町長　一番のネックは価格が折り合わないということであります。

　用地交渉は、豊見城市が全力で行っており、何とかまとめきれるということでありますので、粘り強く用地の取得を進めていきたいと思っています。

古堅町長　今の場所で何とか粘って頑張ってもらって建設する方向で努力していくと、何としてでも地主の理解を得て、協力がなければなかなか前に進まない難しい施設でありますので、これはぜひ御理解いただきたいと思います。

多目的広場の用途変更は

東浜地区、県有地のゾーニング案について

城間まちづくり課長　議会や外部の有識者を交えた土地利用変更計画検討委員会を立ち上げ、町としての方針を年内に取りまとめ、県へ提案していきたいと考えております。

城間議員　ゾーニング案の決定後、分譲の単価や公募等、今後のスケジュールはどうなっているのか。

ホテル用地のゾーニング案は

城間まちづくり課長　分譲までのロードマップ、スケジュールが示されており、平成二十五年度において基盤整備に入り、平成二十六年四月以降、公募をかけて単価も決定していくと伺っております。

公社の資金で東浜に保育施設を作る考えはないのか

城間議員　東浜の町有地、用途見直し等も含めて建設に向けた検討が出来ないのか。

伊集福祉課長　保育所運営に関しては民設民営が基本であり、資金を活用しての保育所建設については検討はしておりません。

　新制度が本格的にスタートされた場合には平成二十七年度からは認定こども園というような保育施設が促進される可能性があります。その辺も見きわめた上で新設保育所が必要なのかどうかということを検討していきたいと思っています。

オスプレイ配備に反対する町民大会を早急に!!

上江洲 安昌 議員

上江洲議員　政府は、MV二二オスプレイの国内での運用にゴーサインを出し、事実上の安全宣言を発表した。十月から普天間飛行場で本格的に運用する方針である。はらわたが煮え返るぐらいワジワジーする。事故が起きたとき一体誰がどのように責任を取るつもりなのか。安全宣言とはよく言ったものである。すべての市町村議会決議、県議会決議そして十万余の県民大会と民主主義的手段を総動員して行ってきた沖縄のオスプレイ配備反対という意思を全く無視し、一顧だにしないという宣言である。沖縄の要請や陳情はどのように強く熱心に行っても意味がないという宣言であり、まさに民主主義の否定である。戦後六十七年にわたって積み重ねられてきた構造的な沖縄差別が、今オスプレイの強行配備という形に集約されている。ここで私たちが無力感にとらわれ諦めてしまったら日米両政府の思うつぼである。今こそ、私たちは反対行動を強化し、軍隊にとって居心地の悪い沖縄をつくらねばならない。オスプレイの訓練経路に含まれる与那原町も早急に町民大会を開催すべきと思う。また役場の屋上に抗議のアドバルーンを上げたらよいと思うが。

照屋総務課長　早速オスプレイ配備に反対する与那原町実行委員会を開催し、開催日を決定したい。

古堅町長　どういう形でやったほうが町民の意思を表明できるかしっかり吟味して進めたい。

軽便鉄道与那原駅跡は町民の知恵を結集して保全活用を

上江洲議員　軽便鉄道に関する資料は多くある。山原船、客馬車、荷馬車等を展示して東海岸の拠点まちだったことを示すべき。壊して道にすれば何も残りません。ここには場所の力とか、地磁力というものがある。与那原町の史跡名所の場としてどう生かしていくのか、みんなの知恵を絞ってつくるべき。

新垣企画財政課長　一度は保存活用を断念したが、いま一度可能性がないかなど含めて、検討委員会の中でしっかり議論したい。

古堅町長　地権が町に移った後に、どういう形でこれを生かしていくか、いろんな人たちの提言、提案もぜひ必要だと思う。

住宅リフォーム支援事業に下水道接続工事も含めるべきでは

上江洲議員　住宅リフォーム支援事業に下水道接続工事は対象になっていないが、何故か。私は入れるべきと思うが。

城間まちづくり課長　この事業は年度途中から事業執行となり、限られた予算の範囲内でどのくらいの申請が来るか判断がつきにくいことから、スタート時は居住部分の利用部分に限定した。八月の一ヵ月間で約七・七倍の経済効果となっている。下水道接続工事についても三件の問い合わせがあった。既成市街地側でなかなか進まない下水道接続状況の中、今後、マリーナや水路を生かした海洋性レジャー拠点を目指す本町にとって、水質の浄化は必要不可欠であり、そのためにも下水道普及を促進する必要がある。次年度より町内中小企業のさらなる経済対策効果及び下水道普及効果も期待し、下水道接続工事を住宅リフォーム支援事業の対象に含め、継続できるよう、企画財政課、上下水道課と協議していきたい。

子ども子育て支援関連法について

上江洲議員　総合子ども園と幼保連携型認定子ども園で異なる点は何か、又、町の保育所運営にどう影響するか聞きたい。

伊集福祉課長　総合子ども園は既存の幼稚園及び保育所もすべて総合こども園へ移行する。さらに株式公社やNPO法人など、さまざまな主体が設置できるということであった。修正された幼保連携型認定子ども園は設置主体は現在と一緒で国・自治体・学校法人及び社会福祉法人のみとした。

保育所から認定子ども園の移行は義務づけない。児童福祉法に関しても保育所での保育の実施義務については現行どおりということから、影響はないと考える。

山口 修 議員

与那原大綱曳、大正区への派遣事業、全体で幾らかかったのかその中間総括を求める

屋比久産業振興課長　派遣事業総額は概算で七三〇万四千円です。内訳は旅費で六百九十万七千円、郵送料、備品購入・消耗品等の雑費で三十九万七円円となっております。大正区からは経費負担として百五十万円を受け入れており、なお大綱及び道具の輸送費は大正区が負担するということになっています。

山口議員　町民の綱である大綱が行くわけですから、十三行政区から実行委員以外の方も派遣していただきたかったと思いました。ちょっと配慮に欠けていたのではないか。

屋比久産業振興課長　・・・委員長からもありませんでした。

山口議員　大正区は大成功だった、当局はどのように総括しているのか町長に伺う。

古堅町長　これは、機会があれば他の地域でも与那原の大綱曳のすごさをアピールしていく、あるいはもっと観光資源として生かす道もあるのではないかと実感しております。また、地元での綱曳のあり方ももっと発想を大きく広げて発信していくチャンス、ということで非常に有意義だったと思います。

役場や関係施設等へのクレーム対応について

山口議員　クレーム対応、正職員、その職務の重さについて認識を改めるようにしなければならない、どうなっているのか？

照屋総務課長　臨時職員で対応していることに関しては事実確認をし、是正してまいりたいと思います。

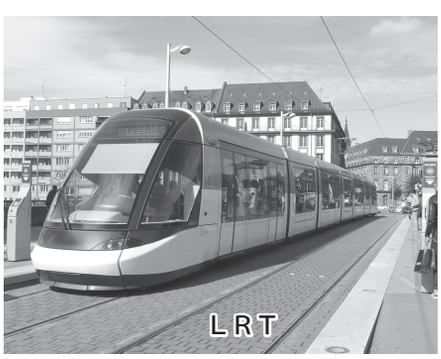
（詳細は略す）

与那原大綱曳

LRT問題。年間の負担総額はいくらか考えているか？　町財政に及ぼす影響はどうなるのか？

新垣企画財政課長　①町長の方から次年度の一括交付金を活用して可能性調査が実施できないか検討してくれとありましたので、その中で試算をしてまいりたいと思います。②一般財源からの負担につきましては、トータル的に赤字にならない事が望ましいと考えており、町民の利便性や福祉の向上などを考慮した試算を今後行っていく必要があると考えております。③町財政に及ぼす影響はどのようになるのか、考えているかですが。今後様々な検討を重ねる段階で財政的な負担等も含めて明らかになってまいりますので議員が懸念されるようなことが起きるのか、またはどのようにしていけばよいのかなどを議論してまいりたいと思います。

山口議員　広く南城市を含め、呼びかけをしながらつくって頂きたい。支線（LRT）は那覇与那原じゃないですよ、那覇佐敷になっている。この辺も考えた上で取り組んで頂きたい。


LRT

行財政改革、どうなっているのか？

照屋総務課長　自主財源をどのように確保していくかというような事は一つの大きな命題として取り組んでいきたいと思っております。それから定員管理の適正化につきましては、昨今の権限委譲や人口増加に伴う事務量の増大、一括交付金を含め、今後議論しながら勧めてまいります。

新垣企画財政課長　平成二十三年度の基金残高は財政調整基金が十四億、減債基金が一億、特定目的基金が六億、総合計二十一億五千八百八万円の積立額となっており、ここ毎年積立を行っている。安易な基金の取り崩しを行わず財政運営を継続していきたい。

与那原町議会だより　第96号
発行：与那原町議会　編集：議会広報常任委員会　〒901-1392　沖縄県与那原町字上与那原16番地　098-945-5775

平成二十三年度与那原町内工事実施箇所現場視察

平成二十三年度決算審査において、与那原町議会では、計十八箇所にわたる工事現場箇所を視察。

主な箇所として、御殿山東浜線橋梁下部工事について担当課から進捗状況等の説明を受けた。工事の内容は、御殿山青少年広場と東浜地区を結ぶ人道橋で平成二十五年度末を目途に供用開始の予定。この人道橋の完成により、東浜地区から与那原小学校への児童の通学安全確保・通学時間の短縮が期待される。

青少年広場と東浜を結ぶ人道橋視察

また、東浜にあるシンボル緑地内に入り、担当課から説明を受けた。シンボル緑地内にパークゴルフ場を建設、平成二十五年度より、供用開始の予定。パークゴルフ場の完成により、住民の健康維持につながるだけでなく、町外の方や観光客の誘致も期待できる。

その他にも、板良敷沿岸線交差点改良工事、与那原東小学校校舎建替え工事、幹線一号線交差点改良工事等の現場を視察。

パークゴルフ場建設予定地視察

与那原町議会 怒りの抗議活動

十月十四日、オスプレイ配備に抗議し、撤回を求める与那原町民大会が社会福祉センターで行われた。町民代表が「配備は到底許されるものではない」などと決意表明した。

その後、当町議会では普天間基地の野嵩ゲート前へ向かい、座り込みを行った。各議員がオスプレイ配備に反対する強い思いを込め、基地に向かいシュプレヒコールを繰り返し、約二時間にわたる抗議活動を終えた。

町民大会を終えた二日後の十月十六日に、米兵による集団女性暴行事件が発生し、県内、国内に衝撃を与えた。与那原町議会では十月十九日に臨時議会を開き、今なお改まらない米軍・米兵の不祥事に激しい憤りを感じるといったことから「米兵による集団女性暴行事件に対する意見書」及び抗議決議を全会一致で可決した。

その日の午後に当町議会議員は在沖米国総領事の方へ足を運んだ。抗議決議文を直接手渡した際に、被害者への謝罪と完全な補償を求め、米軍人・軍属等の綱紀粛正を徹底し、事件・事故の再発防止への対策を行うよう強く訴えた。

米国総領事館前

米兵による集団女性暴行事件に対する抗議決議

去る１０月１６日、沖縄本島中部において、米海軍兵士２人による集団女性暴行事件が発生した。県警によると１６日未明に米兵２人は後ろから女性を襲い、人目がない道路わきに引きづり暴行したとして、集団女性暴行致傷事件で逮捕・送検された。

去る８月１８日にも、在沖米海兵隊員が那覇市の住宅街で女性への強制わいせつ致傷容疑で逮捕されたばかりで、２か月の間に立て続けで発生した卑劣極まりない蛮行に対して、県民からは激しい怒りと憤りが噴出し、絶対許されるものではない。また、今回の事件は、１９９５年９月の「米海兵隊員３人による女子児童暴行事件」を想起させ、県民に強い衝撃と不安を与えている。

復帰後、在沖米軍人・軍属等による犯罪事件数は平成２３年度末時点で５，７４７件にのぼり、ことあるごとに本町議会は、米軍当局や関係機関に対し厳重に抗議し、綱紀粛正の徹底と再発防止策を要求してきた。特に１９９５年の女子児童暴行事件の際には、８万５千人の県民が結集して超党派の県民総決起大会が開催され、大規模な抗議行動が行われたにもかかわらず、今なお改まらぬ米軍及び米兵の体質に激しい憤りを禁じえない。

このような度重なる事件・事故の発生は、米軍の再発防止策の弱さと日米地位協定の運用改善のみでは対処できない現実を示すものであり、沖縄県民の尊厳をどこまで踏みにじるのか、沖縄は米国の植民地でないことから、改めて抜本的な解決策を求める必要がある。

よって、本町議会は、今回の暴行事件に関し米軍当局及び関係機関に対して満身の怒りを込めて抗議するとともに、県民の生命、財産、人権を守る立場から下記事項の実現を強く要求する。

記

１．被害者への謝罪と完全な補償を行うこと。
２．米軍人・軍属等の綱紀粛正を徹底し、事件・事故の再発防止の実効ある対策をとること。
３．日米地位協定の抜本的な見直しを図ること。

以上、決議する。

平成２４年（2012年）１０月１９日

沖縄県与那原町議会

あて先　米国大統領、米国国防長官、米国国務長官、駐日米国大使、在日米軍沖縄地域調整官、在沖米国総領事